



# 福祉施設対策委員会 ニューズ

No2013-05  
2014年  
3月3日

## 13年第2回福祉施設対策委員会と 本社福祉課労使協議会開催しました。

2月23日（日）東京・入谷の全日赤本部会議室にて13年度第2回福祉施設対策委員会を開催し、翌24日（月）には日赤本社福祉課との労使協議会を行いました。

### 各施設から人手不足の報告

#### 医療センター乳児院：

都心にある医療センター乳児院では地域相場から見て日赤の労働条件が低いため保育士が来ない。院内保育所問題は1年が過ぎた。方向性が見えないまま乳児院からの応援が続いている。

#### 松江乳児院：

3月、4月と退職者、休職者が相次ぐので人が足りなくなる。代休や特休は取れているが有休が取れていない状況。

#### 武蔵野保育園：

3月末で退職者が3名出ている。組合員4月より育児短時間勤務を園で初めて申請する。又、園の建てかえが遠くない将来に出てくる。お金がかかる。

#### 大阪赤十字病院附属大手前整枝学園：

今年度（14年度）の通園は現在の体制を維持することが決まったが、15年度の通園は形態を変えらと言われている。又、来年度に向けて今年度週1回「親子保育」を施行すると言い出しており、現在の人員を増やさないとやるのが目的ではないかと疑っている。

## 本社福祉課労使協議会

### 本社「26年度は乳児院職員の教育研修の為の予算を申請している。」

24日午後より行われた日赤本社との労使協議会では各施設の実情を訴えると共に、全ての福祉施設に共通する深刻な課題として子どもの為に使えるお金が無い、人手不足が顕著になっている等、運営費を本社として確保してほしい訴えを行いました。

#### ○国や自治体に対して福祉政策充実の為の訴えを

福祉課長「出来る限りの事をしたいとは思っているが、日赤として国に対して発言する場がない。又、日赤の社会福祉は、国の社会福祉の中でも小さい方であり国が発言の機会を設けてくれるなら参加も可能だが・・・」

#### ○日赤として福祉施設の今後について

福祉課長「来年度（26年度）は乳児院を中心にお金を使いたいと思っている。職員の短期教育研修の為の予算措置。例えばそれぞれ他の施設（日赤以外も含む）を見学に行くなどの費用を。予算は申請している。もし施設でその研修費の浮いた分を子どもの為の別の行事に使うとかそういったことをしてほしい」



### 次回の全日赤福祉対策委員会は

2014年5月25日午前9:00～12:00 東京・入谷日本医療労働会館（間に合わない場合前泊）  
引き続き以下の参加をお願いします。

5月25日午後13:30～上記同じ場所にて医労連福祉部会学習会

5月26日午前10:00～厚労省交渉、午後2:00～施設見学（日赤医療センター乳児院）※予定